

=私たちの活動 4つの柱=
*制度化と指導員の身分保障
*専門性と仕事の確立
*父母と共に学童保育運動の発展
*全国の指導員との団結と連帯

建交労全国学童保育部会

ニュース学童保育

2022. 5. 1 6.
NO. 8 6
全日本建設交運一般労働組合
全国学童保育部会 発行
編集：事務局

臨時特例事業、市内のクラスすべて申請

徳島市より通知

「コロナ克服・新時代開拓のための経済政策」

(令和3年11月19日閣議決定)において、保育等の現場で働く職員の収入の引上げ等が掲げられたことを踏まえ、放課後児童支援員等の処遇改善を図るため臨時交付金があったに創設されました。

これを受けて、徳島市も実施されることになりました。

徳島市からは、1月19日に各学童に通知が届きましたが、賃金改善計画書の提出は2月4日必着となっていました。計画書作成期間がタイトであったことや、計画書の記入方法がわかりにくかったことなどで、担

当課への問い合わせがたくさんあったようです。とくに「常勤換算値」の算出方法について、多くの学童から問い合わせがあったと聞いています。

徳島市は、令和4年1月分の賃金と比較して月額11000円(常勤職員1人あたり)の改善を2月から実施するとし、法定福利費等の事業主負

全労連ケア労働者決起集会

5月11日(水)、全労連はケア労働者決起集会をZOOMで開催し、約180人が参加しました。

この度のケア労働者に対する政府の処遇改善の補助金は、看護や保育など職種によって対象となる労働者の範囲や1人に対する補助単価が違います。

こうした矛盾を是正するよう、看護や保育の労働組合から発言がありました。

学童保育関連では、愛知支部の松木副委員長が発言し、「保護者の協力もあり3万円上がった。しかし、政府がもっとお金を出すべき」と訴えま



画面右が松木さん。

した。

建交労からの参加は、12人でした。



担当は学童の持ち出しとするようにと指導がありました。

徳島市は、すべての学童が申請をしたそうです。

正規・非正規、全員に支給

私が勤務する学童では、正規職員2人に1万1000円、パート職員に6千600円・4千400円・3千300円、アルバイトに2千200円の手当をつけてもらうことができました。

令和3年度は、徳島県の最低賃金が28円引き上げられたので、アルバイトの時給を800円から850円にアップしてほしい旨を保護者会に伝え、それに伴い他指導員も時

給50円の昇給を要求しました。

反対をする方もいましたが、試算してみても大丈夫なら昇給するということになりました。

試算の結果、2年くらいは繰越金を切り崩しながら、今の運営水準を維持することができるかもしれないけれど、以後は難しくなるだろうということで、結局保留になっています。

残念ながらアルバイト以外の昇給は叶わなかったのですが、臨時特例事業で短時間勤務のパート職員を含め全員に手当をつけることができたのはよかったです。

今回のような単発の事業もありがたいのですが、毎年の昇給に使えるように、処遇改善加算(16万7千800円)の大幅増額、もしくは比較する年を平成25年度ではなく前年度にするとかの改善を望みます。

(徳島支部 亀井照代)